平成 23 年度　事務事業事後評価調書（平成　22　年度事業）

整理番号	11	―	45

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	図書館システム更新事業					
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		図書業務係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査
		氏名	髙橋健仁		氏名	櫻井輝久
事業の概要	保守期間を経過した旧システムを更新し、故障等による利用者サービスの低下を解消するとともに、、新たなサービスの充実を図る。					

全体計画	/単年度のみ	
（平成 22 年度～ 24 年度）		
事業費	国・道支出金	千円
	地方債	千円
	その他	千円
	一般財源	3,210 千円
	事業費計	3,210 千円

実施方法	■ 直営	民間委託	その他（　）

第 5 期 総合計画（前期）	■ 登載事業	非登載事業	優先度	B

事業の位置付け			
政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～	
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	
単位施策	5	施設・備品の有効活用	
事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務	
その他計画・根拠等			

事業費 実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
雄武町負担額（一般財源）	千円	千円	2,759 千円	147 千円	105 千円
合計	千円	千円	2,759 千円	147 千円	105 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

		望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【誰、何が（対象）】	町民	図書館システム更新		
【抱える課題やニーズは】	システムの故障等により、利用者サービスに支障を来たす状況となっている。	指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	システムの更新により、サービス低下を解消するとともに、蔵書検索の拡充など、新たなサービスの充実を図る。	① 図書館システム更新	目標年度	平成22年度
			目標値	1 式
			実績値	1 式
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	町民の利便性が向上するとともに、システムによる効果的な蔵書管理等を図る。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
図書館システム更新	旧システムからのソフトの入れ替えの他、ハードウェア一式の交換を行った。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	公共図書館としてサービスを提供するにあたり、図書館システムは重要であり、当該事業を実施しなかった場合、利用者に対して多大な影響を与えるため、必要な事業である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	システムの更新により、蔵書検索の拡充など、利用者の利便性が向上したとともに、システムによる効果的な蔵書管理が図られた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	競合各社との比較によりコストパフォーマンスに優れたシステムであり、旧システムより充実した蔵書検索等を行うことができるものであることから、業務の円滑化・効率化が図られた。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	公共サービスを担う図書館のシステム更新であり、対象は全町民となるため、公平性は保たれている。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
システムの更新による利用者の利便性向上を図るため、計画どおりの事業を達成した。		

今後の展開方向
（Action）

終了		
次年度以降は、保守料のみであることから、経常対応とする。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）